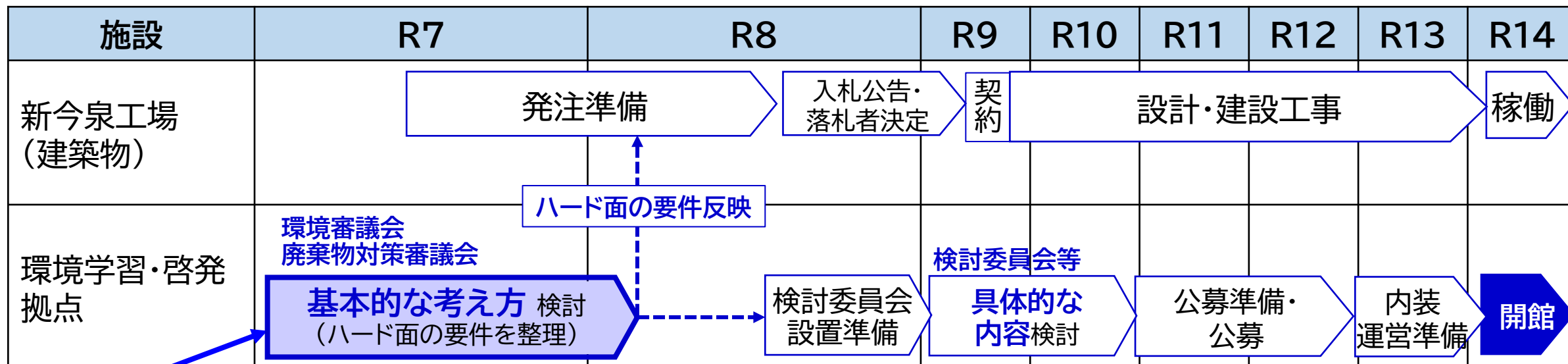


今泉工場建替に伴う環境学習・啓発拠点の 基本的な考え方について

1 検討の契機とこれまでの経過

- ・今泉工場建替を好機と捉え、本市の環境について総合的・体系的に学べる**環境学習・啓発拠点の整備**のあり方について検討を進めてきた
- ・これまでの議論を踏まえ、拠点に必要なスペースや機能等の**ハード面の要件**を「**基本的な考え方**」として取りまとめ、**今泉工場建替事業の発注仕様に反映**





【基本的な考え方の検討経過】

- ・ 環境審議会・廃棄物対策審議会 R7第1回 検討の視点、構成イメージ・情報収集の着眼点
第2回 情報収集の中間報告
R8第1回 **基本的な考え方** 取りまとめ
- ・ 環境学習等施設17施設、有識者・施設運営事業者4者へのアンケート・ヒアリング調査を実施(R7)

2 環境学習・啓発拠点の現況

- 本市の環境学習・啓発拠点として、現在以下の3館を運営。
- 脱炭素政策の推進や民間リユース事業の普及等の社会情勢の変化に伴い、施設のあり方や学習コンテンツなどハード・ソフト面で様々な課題が生じている。

施設名称	施設内容	面積	所在地	施設の様子
今泉リサイクルプラザ	3Rの推進 (リユース、リサイクル工房等)	約700㎡	若林区今泉 工場隣接	
葛岡リサイクルプラザ	3Rの推進 (リユース、リサイクル工房、3R 学習展示)	約1,200㎡	青葉区郷六 工場隣接	
せんだい環境学習館 たまきさんサロン	環境学習全般 (講座開催、図書・スペース貸出、 団体による出前講座支援等)	約160㎡	東北大学青葉山 キャンパス内	

3 主な課題と検討の視点

杜の都環境プランの「行動する人づくり」では、「本市が目指す環境都市像を実現するためには、一人ひとりが環境に**関心**を持ち、**理解**を深め、自らが積極的に**環境に配慮した行動を実践**することが重要」としている。

【主な課題】

【検討の視点】

関
心

- 来館者が固定化され、新規開拓の動機付けが不足
- 世代に応じたアプローチが不足

ライフステージに応じた **関心の喚起**

理
解

- 場所や情報が分散し、本市の環境を体系的に学べない
- 社会情勢の変化にソフト・ハード面で対応できていない
(脱炭素政策の加速、民間リユース事業の普及等)

仙台の強みを活かし時代に即した **理解の深化**

実
践

- 家庭や多様なフィールドでの環境配慮行動促進が必要
- 環境団体、関心のある市民等の連携や協働が不十分

拠点から広げる **環境配慮行動の実践**

※他の学習拠点等との機能分担を考慮して検討

4 環境学習・啓発拠点に必要な機能とスペース

- 環境学習等施設及び有識者・施設運営事業者等へのアンケート・ヒアリング調査、環境審議会・廃棄物対策審議会でのご意見を踏まえ、
3つの検討の視点に対応した仙台らしい環境学習・啓発拠点に**必要な機能とスペース**を整理

検討の視点	必要な機能	対応する主なスペース
ライフステージに応じた 関心の喚起	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や関心、多様なニーズに対応した導入機能 映像やデジタル技術を活用した、参加型の学習機能 来館者が立ち寄り、入りやすい仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 導入/参加型の常設展示 未就学児のための学びの場 大会議室(多目的ホール)
仙台の強みを活かし時代に即した 理解の深化	<ul style="list-style-type: none"> 仙台の環境を体系的に学べる拠点機能 (豊かな自然環境、歴史、先進的な取り組み等) 社会や環境の変化を反映できる、更新性の高い展示 段階的に理解が深まる導線 	<ul style="list-style-type: none"> 仙台の環境を体系的に学ぶ常設展示 企画/多目的展示スペース 工場見学と連動した学習導線
拠点から広げる 環境配慮行動の実践	<ul style="list-style-type: none"> 学びを行動につなげる実践・交流機能 多様な主体が関わる拠点機能 地域へ広がる実践の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信/交流スペース ワークショップスペース 大会議室(多目的ホール)

5 環境学習・啓発拠点のスペース構成案①

(1) 展示スペース

・ 常設展示スペース

		未就学	児童	大人
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資源循環だけでなく、地球温暖化や自然環境など本市の環境について体系的に学ぶ場 ○ 仙台の豊かな自然環境と都市機能の調和、歴史、先進的な取り組みなど「仙台らしさ」を伝える場 			
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像やデジタル技術を活用した導入・参加型の展示 ○ 社会情勢や環境の変化を反映できる更新性の高い展示 ○ タブレット端末等により来館者の世代や興味関心に応じた体験の提供 			



環境について体系的に学ぶ展示
(エコパルなごや)



映像とデジタル技術の活用した学び
(東京都品川区)

・ 企画/多目的展示スペース

		未就学	児童	大人
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境活動団体や地元企業等と連携した企画・展示や、定期的な展示の入れ替えなどにより、新たな学びを生み出す場 			
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な主体との連携を促進 ○ 環境と他分野を組み合わせた取り組み 			



民間企業と連携した企画展
(さすてな京都)

5 環境学習・啓発拠点のスペース構成案②

(1) 展示スペース

・ 未就学児のための学びの場

	未就学	児童	大人
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ こどもが保護者と楽しみながら環境に親しみ、取り組みのきっかけとなる場 ○ ファミリー層の誘客、幼少期からの学びを促進する場 		
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感覚的な体験を重視し、保護者と一緒に遊びながら気づきを促す仕組み ○ 未就学児が安全・安心に過ごせる空間 		



未就学児向けスペース
(イイナパーク川口)

(2) 交流・実践スペース

・ 会議室(多目的ホール)

	未就学	児童	大人
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工場見学における学習や講座、イベント等学びを共有する場 ○ 地域や環境団体の打ち合わせ、発表等に活用する場 		
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工場見学における学年単位で利用に対応できる広さ ○ 可動式の間仕切り等による可変的なレイアウト ○ 工場見学からのスムーズな移動導線 		



多目的ホール
(かごしま環境未来館)
画像提供:かごしま環境未来館

5 環境学習・啓発拠点のスペース構成案③

(2)交流・実践スペース

・ 情報発信/交流スペース

未就学	児童	大人
-----	----	----

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境施策や講座、イベント情報などを紹介する場 ○ 地域団体や環境活動団体等の活動を紹介する場 ○ 来館者や団体が交流し、気軽に休憩できる場
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境に関する様々な情報を分かり易く伝える発信機能 ○ 多様な主体が関わる拠点機能 ○ 地域や環境活動団体、教育機関、民間企業など様々な主体とつながり、活動を広げる仕掛け

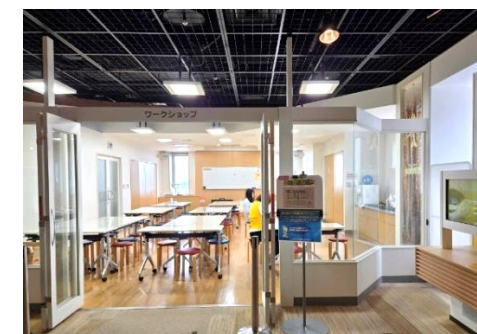


コミュニティラウンジ
(エコルとごし)

・ ワークショップスペース

未就学	児童	大人
-----	----	----

概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3Rの実践や食品ロス削減に向けた行動変容を促進する場
求められる機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体験を通して日常での行動(実践)につなげる機能 ○ こどもから大人まで、幅広い世代が参加できる交流機能 ○ 内容や参加人数に応じて使い方をえられるレイアウト



ワークショップ室
(エコパルなごや)

6 環境学習・啓発拠点の基本的な考え方(まとめ)

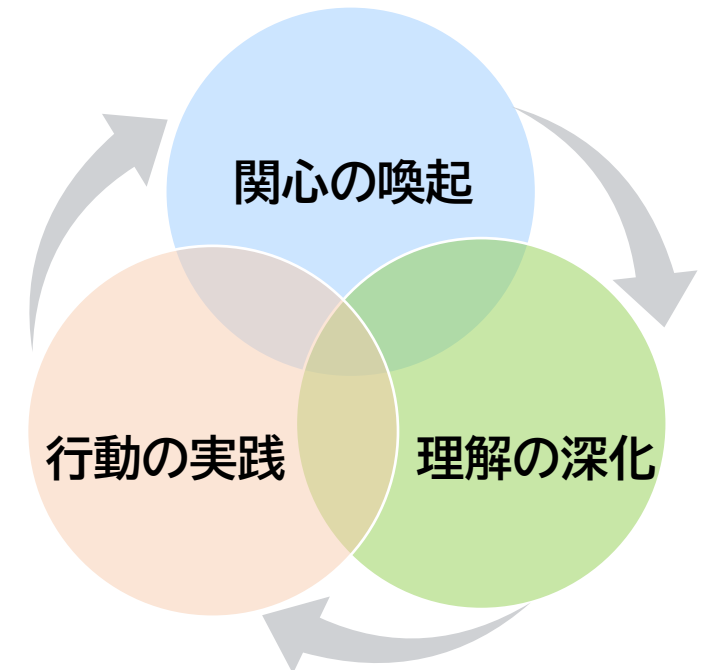
- 仙台らしい環境学習・啓発拠点として**必要な機能及びスペース**を備えること
- 幅広い世代や多様な主体が**利用しやすい施設**とすること
- 将来的な社会変化や展示更新に対応できる、**可変性・更新性を重視した構成**とすること



本市の豊かな自然環境の活用



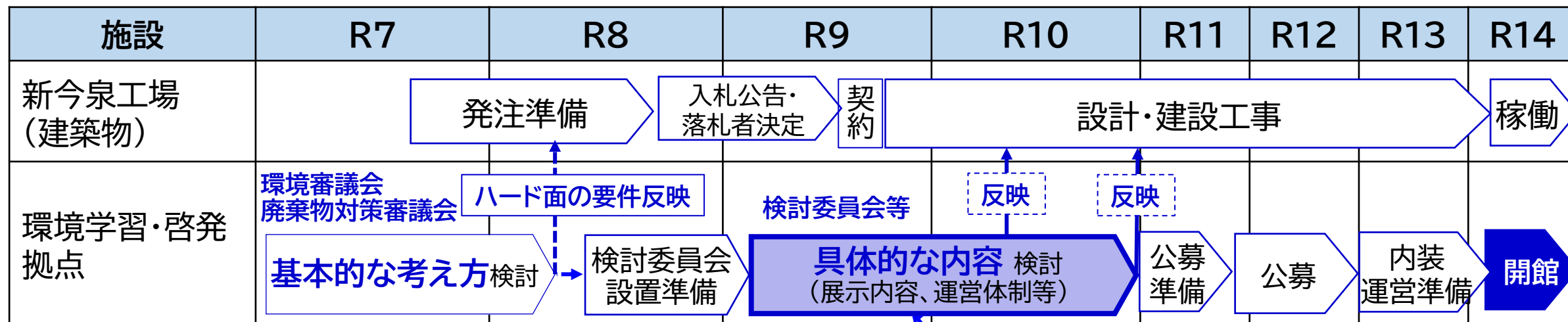
東部沿岸地域との連携



3つの検討の視点

7 今後のスケジュール

- 「基本的な考え方」を今泉工場建替事業の発注仕様に反映。
- 令和9～10年度に設置する検討委員会において、他の学習施設との棲み分けを考慮しながら、展示内容や運営体制等の施設の設置・運営に係る具体的な内容について検討を行う。



【環境学習・啓発拠点の具体的な内容の検討方法】

令和9～10年度に有識者等による検討委員会を設置し、施設の具体的な内容(展示・学習内容、学習プログラム、運営体制等)を整理し、設置・運営事業者の公募に反映